索道安全報告書

令和7年度版

アーステールリフト
アーストップリフト
スカイテールリフト
スカイトップリフト

戸狩温泉スキー場

戸狩温泉スキー場株式会社

安全報告書目次

１．利用者の皆様へ

２．基本方針と安全目標

（１）基本方針

（２）安全目標

３．事故発生状況とその再発防止措置

４．輸送の安全のための取組み

５．当社の安全管理体制

６．利用者の皆様の連携とお願い

７．連絡先

１．利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自らを振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見を頂戴できれば幸いです。

戸狩温泉スキー場株式会社
戸 狩 温 泉 ス キ ー 場
代表取締役社長　濱口　弘

２．基本方針と安全目標

（１）基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- 一致団結して輸送の安全の確保に努めること
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するようにつとめること
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは、最も安全と思われる取扱いに努めること
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行なうこと
- 情報は漏れないよう迅速、正確に伝えること
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること

（２）安全目標

索道輸送安全目標は次のとおりです

- 設備不具合による事故を発生させない。
- 人身障害事故を発生させない。

３．事故等の発生状況とその再発防止措置

（１）索道運転事故（索道人身障害事故）

令和７年度、索道運転事故（索道人身障害事故）報告はありません。

（２）災害（地震や暴風雨、豪雪など）

令和７年度災害による運行停止はありませんでした。

（３）インシデント（事故の兆候）

令和７年度国土交通省へのインシデント報告はありません。

（４）行政指導

令和７年度国土交通省からの行政指導はありません。

４．輸送の安全確保のための取組み

（１）人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つようシーズン営業開始前に索道研修会を社内索道技術管理者を講師に開催しました。

（２）緊急対応訓練

シーズン前に救助訓練を行ない連携を図りました。

（３）安全のための投資と支出

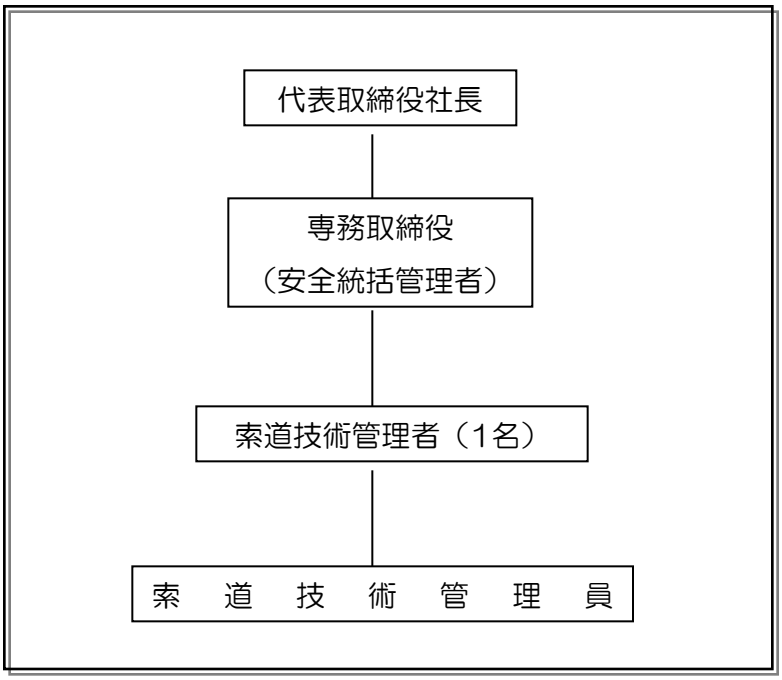
安全維持・向上のため、索道整備年次計画に基づき施設の修繕を行っております。

主な設備投資及び修繕事項

- アーステールリフト　索受装置整備（２号１０号１１号支柱）３本
  握索機オーバーホール25台
- アーストップリフト　握索機分解整備及び主要部品MT検査　２４台
  終点　出発側従動プーリーオーバーホール
- スカイトップリフト　起点到着側押送カムクラッチ交換

5．当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役（安全統括管理者）	索道事業の輸送の安全に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道主任（索道技術管理員）	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

6．利用者の皆さまの連携とお願い

（１）利用者の皆様からのご意見
当社では、お客様の立場に立った、より安全で信頼される索道事業を推進しております。
お客様からお寄せいただいた声を役立てています。
（２）リフト乗車時の注意事項
①乗り降りになれないお客様は、係員にそのことを申し出てください。
②空き缶・タバコの吸殻・その他の物品を乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
③搭乗中のいすから飛び降りたり、いすを揺すらないで下さい。
④衣服・携帯品・髪の毛などが、施設に巻きつかないように注意して下さい。
⑤改札後は係員の指示に従って下さい。

7．ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒389-2411
長野県飯山市大字豊田6356番地二
戸狩温泉スキー場株式会社　総務部
TEL：0269-65-2359
FAX：0269-65-4522
E-Mail info@togari.jp